

平成23年度第3回 横浜市山内図書館指定管理者運営評価委員会会議録

日 時	平成23年9月16日（金）午後2時から4時まで
開催場所	横浜市中央図書館5階第1会議室
出席者	延命委員長、荻原委員、藤崎委員、前田委員、渡辺委員
欠席者	なし
開催形態	公開（傍聴者2人）
議 題	1 平成22年度山内図書館指定管理者運営評価に関する事業者へのヒアリングについて
議 事	<p>1 平成22年度山内図書館指定管理者運営評価に関する事業者へのヒアリングについて</p> <p>(1) 事業者からの説明</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成22年度の山内図書館の運営に関して、事業者が新たに開始したサービスである、「来館がもっと楽しく便利になるサービス」及び「どこにいても利用できる図書館情報の提供」についての説明を行った。 <p>(2) 事業者へのヒアリング</p> <ul style="list-style-type: none"> 評価項目ごとに、事業者に対して平成22年度の実績、取り組み状況、考え方などについて聞き取りを行った。 <p>(主な内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> 法令・要綱等の遵守については、市立図書館における各種要領・手順書等も含め、全職員に資料を配付して周知したほか、職員が常時閲覧できる状態にしている。 広報・PRについては、新聞への記事掲載の反響が大きかったことを受けて、新聞社への積極的な情報提供に努めている。 児童の新規登録者の減少については、全市的な少子化によるもので、山内図書館について特別な要因はないと考えている。 受入・除籍図書の選定体制については、部門ごとの担当者が受入選定から除籍までの資料管理を一貫して行っており、市立図書館としての収集基準のほか、山内図書館としての選書・除籍マニュアルに従って行っている。 破損図書への対応については、各部門担当者が図書の状態、所蔵状況等を確認のうえ、修理または除籍の判断を行っている。修理については、講習を受講したボランティアにより行っている。 企画事業のうち参加者が少なかった事業については、もともと少人数を対象とした企画と考えていたものであるが、PR不足や実施時期が適切でなかったことなどにより定員に満たなかったものと考えている。 学校連携については、区内の学校図書館の活性化を目的とした連携を進めており、ボランティアの技術向上や学校図書館運営に関するアドバイス等を行っている。22年度は比較的近隣の学校をたびたび訪問する結果となったが、今後はできるだけ多くの学校を訪問できるよう努めていく。 利用者フォーラムについては、9月と11月の2回開催し、資料の電子化等に関する意見をいただいた。意見を踏まえて、郷土伝承の民話の電子化などを行った。 関係機関との連携については、区役所や区内公共施設との連携による事業を実施したほか、横浜市立大学との連携による講座を開催し、公共図書館としてレベルの高い事業展開を図ることができたと考えている。 新たな取組である物品販売については、当初の想定と異なり、小中学生向けの実用的な文具類のニーズが高いことが判明したため、品揃えの改善を図った。 利用者アンケートの回答内容については、指定管理者への否定的な意見は少ないものの、サービスの充実を求める意見もあり、期待の大きさを感じている。 災害対策については、2回予定していた防災訓練の実施が1回にとどまってしまったが、東日本大震災の際には訓練成果を活かした避難誘導を行うことができた。 経費の執行については、いわゆる持ち出しはなかった。予算額との差が大きかった費目としては、自主企画事業費等が超過したのに対して、人件費・光熱水費は予算額を下回った。
資 料 ・ 特記事項	<p>1 資料</p> <ol style="list-style-type: none"> 平成23年度第2回横浜市山内図書館指定管理者運営評価委員会会議録(案) 横浜市山内図書館指定管理者運営評価 評価項目、指標、評価の目安 平成22年度横浜市山内図書館 活動実績 <p>2 特記事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 平成23年度第2回会議の議事録は承認。 次回の日程及び開催場所については、調整の上、後日ホームページで周知する。